

事業所名 ていさびす あいりんご2

支援プログラム (参考様式)

作成日 R8 年 3 月 16 日

法人 (事業所) 理念		<p>「楽しい・安心できる・使命感」をテーマに重点を置いています。 まず、楽しい気持ちを持つためには、同じ目線に立って自分も一緒に楽しむ。 次に安心できる気持ちを持つためには、もしも相手が自分の家族や友達だったらと思って接することです。 最後に使命感は、「自分だから」「自分しかできない」という気持ちをもって行動する。</p>		
支援方針		<p>一人一人とのコミュニケーションを重視した支援 私たちは、子ども達一人一人とのコミュニケーションを大切に、子ども達が自分の気持ちを適切に表現できるようになり、社会の中で自己表現ができる力を育むことを目指しています。 「楽しい・安心できる・使命感を持った支援」を大切に、一人一人の思いを大事にしながらコミュニケーション能力を養える環境を提供します。</p> <p>1. 楽しい (Enjoy)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 集団活動を通して人と関わる楽しさを養う ・ 子供達が興味を持っている事や得意な事にフォーカスを当てた活動 (五感遊び・身体遊び・知育遊び) ・ 遊びの中で言葉や会話のやり取りを楽しむ (言葉遊び) ・ 四季を感じる活動を取り入れる (春の花探し・夏の水遊び・秋の落ち葉拾い・冬の雪遊び) <p>2. 安心できる (Safety & Trust)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 安心して過ごせる環境づくり ・ 落ち着ける「自分の居場所」を見つけられるよう支援 ・ のびのびと遊べる安全な環境を整備 ・ 子どもの気持ちに寄り添い、安心して挑戦できるようサポート ・ 保護者とも密に連携し、安全管理を徹底しながら安心できる支援を提供 <p>3. 使命感 (Commitment)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 子どもたちの未来を支える存在として、成長や自立を後押しする支援 ・ 子ども一人ひとりの個性を大切に、好きなこと・得意なことを伸ばす ・ 個別、集団様々な形で子ども達の思いをしっかりと受け止め成長に繋げる ・ 職員一人一人の専門性を高め、常に子ども達の事を考えた支援 		
営業時間		9 時 0 分から 18 時 0 分まで	送迎実施の有無 あり なし	
支 援 内 容				
本人支援	健康・生活	<ul style="list-style-type: none"> ・ 遊びや運動を通して健康な心と体を育み、日常生活に必要な生活習慣を楽しく学ぶ機会を大切にします。 ・ 個別、集団で個々のレベルに合わせて活動を行う事で達成感を養い、チャレンジ精神を育てる。 ・ 体操やリズム遊びなどを取り入れ、リズム感やバランス感覚を養う。 ・ 簡単な調理活動を通じて食への関心を深める ・ 食事やおやつ時間を通じて、食事のマナーや食事の大切さを学び健康的な生活を意識できるようサポートする。 		
	運動・感覚	<ul style="list-style-type: none"> ・ 様々な遊びや運動を通じて子ども達の心身の発達のサポートします。 ・ 子どもの興味に合わせて選べる運動 (スポーツ、体操、ボール遊び) を用意する。 ・ 個々のレベルに合わせた遊びを取り入れ楽しみながら「できた!」という成功体験を増やせるような環境づくりを大切にしています。 ・ 集団活動 (ボール遊び、鬼ごっこ) を通じて、協調性や社会性を育む ・ バランス感覚遊び (トランポリン・サーキット) を通じて自分の体の使い方を養う 		
	認知・行動	<ul style="list-style-type: none"> ・ 子ども達が楽しいと思える遊びを通じた学習支援を提供します。 ・ 子ども達一人一人のレベルやその日の気分に合わせて支援を行い、成功体験を積み重ねていきます。 ・ パズルやカードゲームなどを行い問題解決能力や記憶力を育みます。 ・ クイズやしりとりなどで、楽しみながら知識を増やしていきます。 ・ 調理活動を通して手先の使い方や数字を認識することを学びます。 ・ 一人一人の興味関心や理解度に合わせた学びのペースを設定。 		
	言語 コミュニケーション	<ul style="list-style-type: none"> ・ 思いを伝える力や相手の思いを理解する力、社会でのルールなどを選びながら個人のペースに合わせて身につける事を目指します。 ・ 絵カードやジェスチャー等を活用し、一人一人の思いやペースに合わせた学習を提供します。 ・ イラストや写真等を用いた視覚支援で事業所や活動のルールを明確に伝える。 ・ 挨拶をすることや順番を守る練習をすることで社会的なルールを学びます。。 ・ 絵のついた感情カードを用いて言葉にするのが難しい事も周りに伝えられるようサポートする。 		
	人間関係 社会性	<ul style="list-style-type: none"> ・ 本人の意思を尊重し無理なく他者との関わり方を学べるよう本人のペースに合わせてサポートします。 ・ 一人一人のペースを大切にしながら人間関係の構築や社会性を育みます。 ・ 職員が仲介に入り適切な関わり方をサポートする。 ・ 掃除分担や日直として役割を持ち、協力する楽しさを感じられるよう支援する。 ・ 挨拶や感謝の気持ちを伝えられる習慣ができるよう職員が見本となり示します。 		
家族支援	<ul style="list-style-type: none"> ・ 家でできる遊びや学びのアイデアを提供 (簡単な運動遊び、感覚遊び、コミュニケーションゲームの紹介) ・ 子ども達の得意なことや好きなこと等の情報を共有し、家庭での会話のきっかけを増やす。 	移行支援	<ul style="list-style-type: none"> ・ 子どもたちが次のステップ (小学校から中学校、中学校から高校、または就労・自立に向けた準備) ヘスムーズに進めるようサポートすることを指します。 ・ 新しい環境への期待を高めるプログラム ・ 環境の変化に適応できるよう、事前に見通しを持たせる ・ 「できること」を増やし、自信を持って進学できるようサポート。 ・ 学校や家庭と連携し、一貫した支援を提供 (個別の支援計画に基づいた移行支援)。 ・ 子どもが「次のステップへ進むこと」に前向きになれるよう支える。 	
地域支援・地域連携	<ul style="list-style-type: none"> ・ 地域の支援機関と連携し、家庭が使える支援サービスの情報を提供。 ・ 子どもが家庭・学校・地域で一貫した支援を受けられるようにする。 ・ 地域社会の理解を深め、障害のある子どもたちが暮らせる環境を作る。 		職員の質の向上	<ul style="list-style-type: none"> ・ 職員同士で学び合う社内研修 ・ 外部研修への参加促進 (発達障害、感覚統合、行動支援、虐待防止、家族支援など)。 ・ 「子どもと一緒に楽しむ」ことを大切にする文化をつくる (職員もイベントに積極参加)。 ・ 「支援のプロ」としての自覚を高め、専門性を深める環境を整備。
主な行事等	<ul style="list-style-type: none"> ・ 初詣・節分・運動会・遠足・クリスマス会・全事業所合同活動など 			